

■会員 Now

株式会社JPハイテックの風力発電の歴史

株式会社JPハイテック 風力事業部 大江 正

はじめに

㈱JPハイテックは、“J-POWER”電源開発㈱殿が保有する北海道から沖縄まで全国約70箇所の水力発電、送変電設備の保守管理を担っており、電気、土木、建築、補償部門のエキスパートとして、水力発電、送変電設備の建設保守管理をはじめ、あらゆるお客様のニーズにお応えできる総合エンジニアリング企業として活躍しております。

この度は、弊社の風力発電事業の歴史について、ご紹介いたします。

風力発電の歴史

風力事業部は、前身である旧開発電気㈱において、平成11年に発電事業本部 発電部 風力発電開発室として新設され、風力事業への第一歩を踏み出しました。

旧開発電気㈱として、平成11年5月最初の風力発電所建設工事着工以来、平成16年3月までに、6発電所、81,730kW、51基の発電所を完工させました。

平成16年4月1日、J-Power 関連会社の再編により、㈱JPハイテックが設立されました。

その後、平成17年7月1日、電気事業部から独立し風力事業部が発足し、横浜市風力発電所「ハマウイング」1,980kW、1基を、神奈川県横浜市から受注するなど、新会社となってから、5発電所、132,480kW、75基の建設を行ない、これまでの合計として12発電所、216,190kW、127基の建設を行ないました。

現在、2地点 31基、62,000kWの発電所を建設工事中であります。また、8発電所の運転・保守を行なっています。



横浜市風力発電所「ハマウイング」